

## [プラセンタ注射-アンチエイジング-]



### <プラセンタの効果>

本来は肝機能障害・更年期障害の治療薬として厚生省認可を受けている薬ですが、健康な方への投与で、美容・美白・健康の維持・疲労回復・肩こり・腰痛など多岐に渡る効果が得られることがわかっています。年齢性別を問わず行なえますので是非お試しください下さい。

効果はほぼ皆さんに実感いただけると思います。

### <プラセンタとは>

プラセンタ注射とは、ヒト(日本人)の胎盤から抽出したエキスを注射製剤にしたものです。胎盤とは、妊娠中の母体と胎児をつなぐ臓器で、赤ちゃんの発育に必要なものがたくさん詰まった栄養の宝庫と言えます。

胎盤は胎児が成長していく過程で必要な様々な生理活性物質をあたえます。

なお、使用するプラセンタエキスは、ウイルス感染(肝炎、エイズなど)及び細菌感染がない日本人の胎盤から抽出し、さらに過熱殺菌処理(121°C・20分間の高圧蒸気滅菌)も厳密に行われておりますので、ウイルス・細菌の感染症の心配はありません。またホルモン成分も入っていないので、長期に使用しても安全です。

### <プラセンタに含まれる有効成分>

チロシナーゼ・インヒビター、上皮細胞増殖因子、線維芽細胞増殖因子、各種サイトカイン、核酸塩基、各種細胞増殖因子など・・・

### <プラセンタ注射の注意 >

#### 病原性プリオンに関するメーカーの考え

正常のプリオンが変異するには一定の時間が必要ですが、ヒトプラセンタは、約10ヶ月しか母親の体内に留まる事のない極めて暫定的な組織です。また、本製品を含めヒトプラセンタを原料として製造される医薬品の投与により、感染症が伝播したとの報告は、現在までに国内・国外ともにありません。しかし、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病等の伝播のリスクを理論的には完全に否定することはできません。なお、ラエンネック(プラセンタの製品名)を含む人胎盤由来製剤使用者では、このことから献血ができなくなります。

ラエンネックは狂牛病のプリオンというタンパクは取り除くことが出来ないため、上記メーカーの考えにもあるように、理論的に感染の確立を否定することはできません。しかし、加熱製剤なので、ウイルスや細菌などの病原性微生物による感染の対策は確立されています。

また、あくまで美容治療目的として使用する注射なので、プラセンタというお薬を良くご理解いただき、同意書を頂いてからの治療となりますことをご理解ください。

### <料金表>

1	プラセンタ注射	1,640円
2	総合ビタミンカクテル注射	1,520円
3	プラセンタ+総合ビタミンカクテル注射	1,890円
4	プラセンタ2本注射	2,020円
5	プラセンタ2本+総合ビタミンカクテル注射	2,270円

※ 全て筋肉注射で、所要時間は1~2分程度です。

※ 初診料・再診料はかかりません。

※ 料金はすべて税込表示になっております。

## プラセンタ療法についての説明

プラセンタ療法に使用される薬剤ラエンネックは、ヒト胎盤（プラセンタ）から生理活性部分を抽出した医薬品です。ラエンネックについて以下の説明を十分に理解していただいたうえで、ラエンネックを投与することに同意される方は、同意書にご記入下さい。

### ◆効果が期待できる症状

慢性疲労・頭痛・肩こり・腰痛・健康の維持・滋養強壮・アンチエイジング（老化防止）・美容・美白・のぼせ・不眠など

### ◆ラエンネックの主な作用

- ① 肝疾患の場合、ウイルスやアルコールで壊死した肝細胞を修復します。
- ② 細胞1個1個の組織呼吸や新陳代謝を高め、細胞機能を活性化します。
- ③ 肝臓などに沈着した脂肪や、肝細胞の脂肪変性を活性化します。

### ◆副作用

ラエンネックの主な副作用は、注射部位の疼痛、過敏症（発疹・発熱・掻痒など）、注射部位の硬結などです。また、本剤はヒト組織由来のタンパク・アミノ酸製剤であるため、ショックを起こすことがあります。ラエンネックの投与を受けてこのような症状が出た場合、あるいは不安に思われた場合は、必ずお知らせ下さい。

### ◆ウイルスや細菌などに対する安全性

ウイルスや細菌が混入しないようにするため、次のような汚染防止対策を講じております。



- ① 原料提供者について医師によるウイルスなど感染者のスクリーニングを実施。
- ② 受入試験でB型肝炎・C型肝炎・エイズ（後天性免疫不全症候群）のウイルス検査に適合した原料を使用。
- ③ 製造工程では、科学的に証明された種々のウイルス不活化処理を実施。
- ④ 最終製品についてB型肝炎・C型肝炎・エイズに加え、成人T細胞白血病及びリンゴ病のウイルス検査を実施してウイルスなどが陰性化していることを確認。

またラエンネックを含めたヒト胎盤を原料として製造される医薬品の投与により、感染症が伝播したとの報告は現在まで国内及び海外ともにありません。しかし変異型クロイツフェルト・ヤコブ病（vCJD）などの伝播リスクを理論的には完全に否定することは出来ません。このことから、ラエンネックを含めたヒト組織や血液を原料とした製品を使用した方は、献血を控えることが求められています。

\*昭和49年の発売開始以来、ラエンネック投与によるB型肝炎・C型肝炎・エイズ・vCJDなどの感染症の報告はありません。

## 同意書

私は、上記薬剤ラエンネックの使用、副作用及び安全性について理解し、  
ラエンネックを使用することに同意致します。

同意日：平成 年 月 日

患者氏名： \_\_\_\_\_

(カルテ No. \_\_\_\_\_)